

2026年3月期
第1四半期

決算補足説明資料

2025年8月14日

連結業績推移 – 第1四半期

26.3期 1Q業績

メニュー改定やプロモーション戦略、イートイン業態の出店等に伴う売上高の増加、前期の店舗閉店、ファイナイン終了に伴う販管費の適正化等により、増収増益

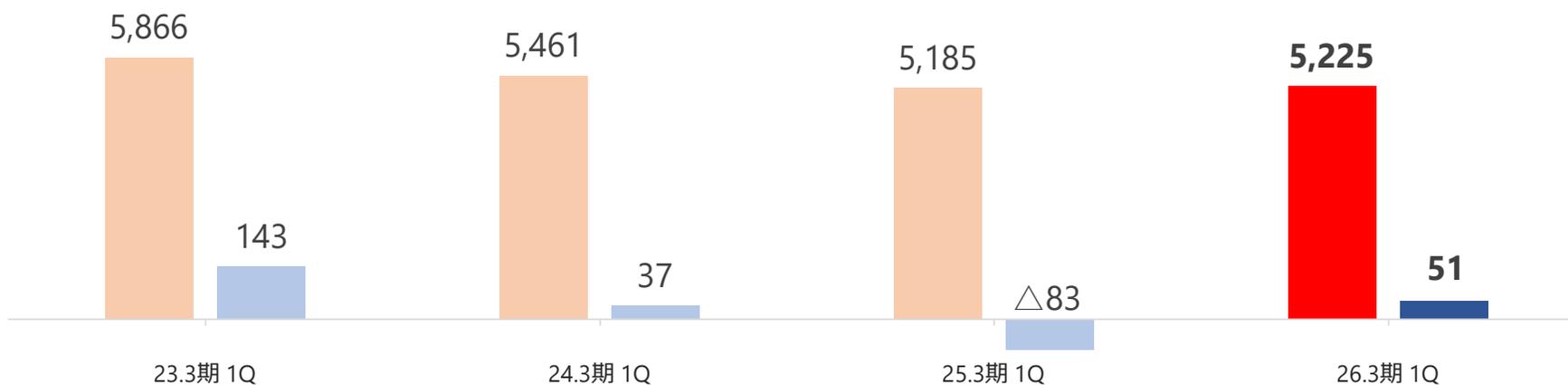
<売上高> 前期比 +39 百万円、増減率 +0.8 %

- ・2025年4月に行ったメニュー改定と、「銀のさら」25周年プロモーション戦略による売上の増加、また前期新規出店したイートイン業態に伴う売上増加等により、増収となる。

<経常利益> 前期比 +135 百万円、増減率 - %

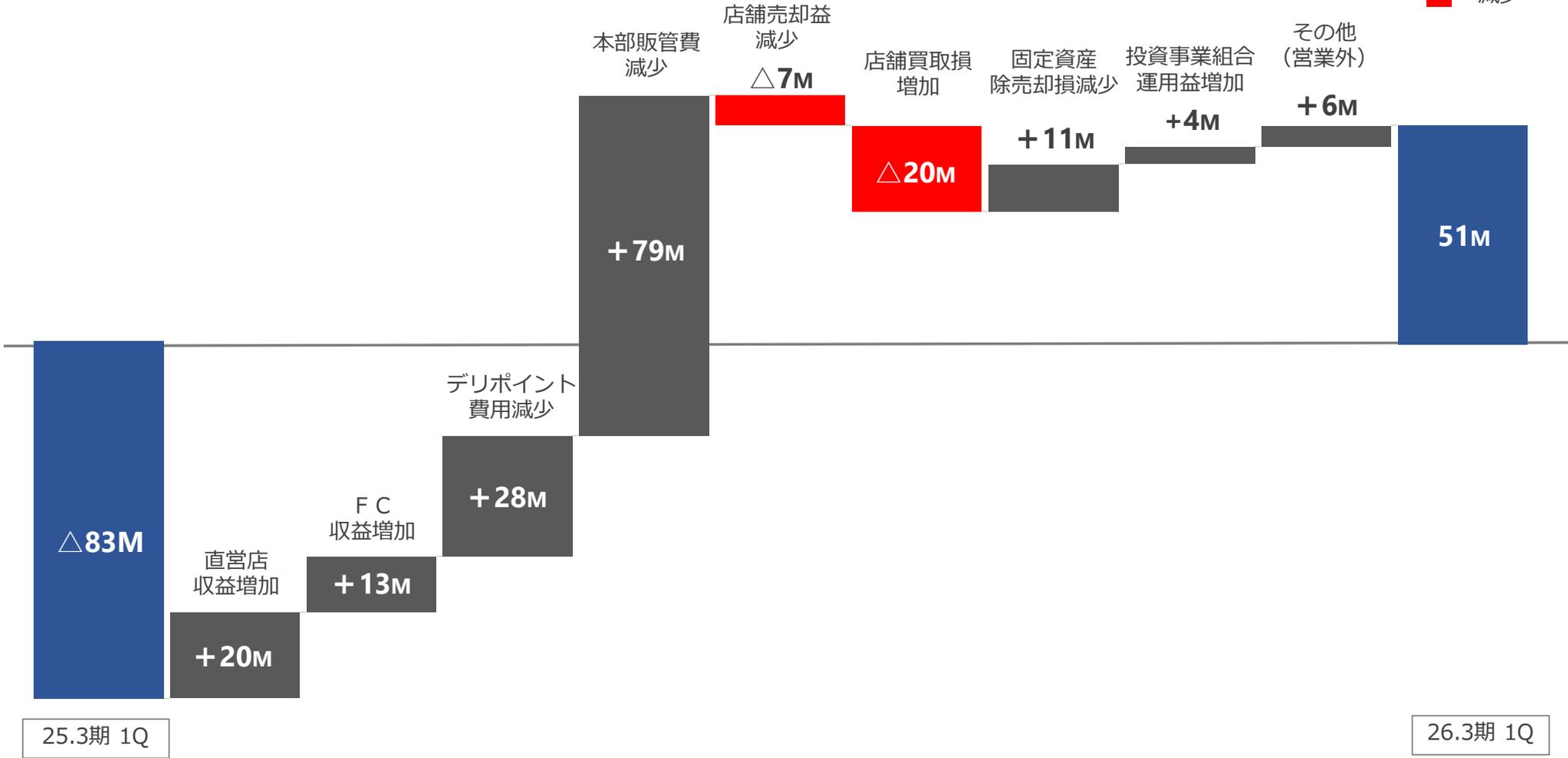
- ・前期の店舗閉店やファイナインの終了に伴い、販管費が適正化、また前期の新紙幣対応によるソフトウェアのバージョンアップ等の一時的な費用がなくなったことにより、増益となる。

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



経常利益の前期比増減の構成 第1四半期

■ 増加
■ 減少



店舗数・拠点数の増減

事業形態	ブランド	25.3期末 店舗数	出店	閉店	26.3期 1Q店舗数
宅配事業	銀のさら	368	－	－	368
	釜寅	228	－	－	228
	すし上等	132	10	△1	141
	銀のさら 和(なごみ)	10	－	△10	0
	DEKITATE	1	－	－	1
その他	イートイン業態	3	－	－	3
合計		742	10	△11	741

	25.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	26.3期 1Q拠点数
直営店	105	－	－	△1	104
FC店	266	－	－	1	267
合計	371	－	－	0	371

連結B/S 対前期末

(単位：百万円)	25.3期末	26.3期 1Q	前期比	ポイント
流動資産	8,709	7,799	△909	資産 △391百万円
(うち現預金)	6,544	5,710	△833	----- 【流動資産】 △909百万円 ・ 現金及び預金 △833百万円 ・ 売掛金 △221百万円 ・ 原材料及び貯蔵品 +149百万円
有形固定資産	663	678	+14	
無形固定資産	304	287	△16	【固定資産】 +518百万円 ・ 投資有価証券 +517百万円
投資その他資産	3,319	3,839	+519	
資産合計	12,996	12,605	△391	負債 △394百万円
流動負債	3,340	3,034	△305	----- 【流動負債】 △305百万円 ・ 未払金 △156百万円 ・ 未払法人税等 △115百万円
(うち1年内有利子負債)	610	602	△8	
固定負債	1,625	1,537	△88	【固定負債】 △88百万円 ・ 長期借入金 △145百万円
(うち1年超有利子負債)	1,038	893	△145	
負債合計	4,966	4,572	△394	純資産 +3百万円
株主資本	7,323	7,197	△126	----- 【株主資本】 △126百万円 ・ 四半期純利益 +20百万円 ・ その他有価証券 評価差額金 +129百万円 ・ 配当金 △146百万円
純資産合計	8,030	8,033	+3	
負債・純資産合計	12,996	12,605	△391	

取り組み：誕生日をお祝いするための特別桶誕生！

宅配寿司「銀のさら」において、店舗で働く従業員を対象に「お誕生日におすすめのネタ」についてアンケートを実施し、上位10種類のネタを盛り込んだ誕生日向けの特別商品『お誕生日おめでとう1人前』を販売いたしました。

今回誕生した本商品は、ハレの日の特別なひとときに向けて、現場を知る店舗従業員の声をもとにお客様に迷わず選んでいただける商品となりました。

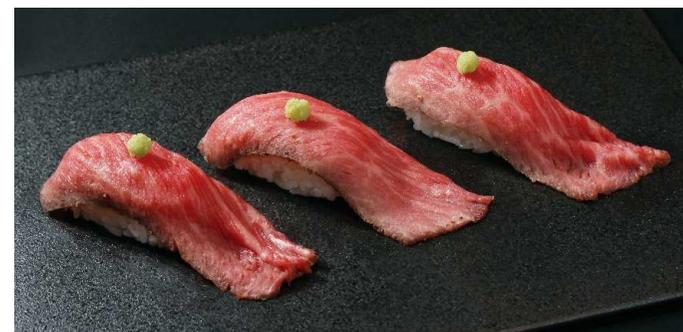


取り組み：約2年間の開発期間を経て「銀のさら」初の「肉寿司」登場！

宅配寿司「銀のさら」では期間限定商品として、
『国産牛握り』を数量限定で販売しました。

『国産牛握り』の商品化には、最適な牛肉の選定からシャリとの相性、デリバリー時の品質維持まで、あらゆる点で試行錯誤を重ね、ようやく華やかさ・美味しさ・品質の三拍子が揃った商品が完成しました。

この『国産牛握り』は、まさに「銀のさら」の熱意とこだわりが詰まった渾身の逸品です。



取り組み：「銀のさら」×「オルセン」共同開発の新たな デリバリーリュックの誕生

宅配寿司「銀のさら」において、デリバリーバッグのプロフェッショナルである株式会社オルセンと共同で、自転車配達に対応し、温度保持性と衝撃吸収性を両立したデリバリーリュックを開発しました。

昨今の免許取得率の低下による人材不足を背景とし、配達人員確保の1つとして、原付免許を持たない従業員でも配達可能な「自転車配達」の中でもより手軽に商品を配達することができるデリバリーリュックの開発を行い、配達の多様化を促進しています。



取り組み：海の環境を守る「ウニの森づくり植樹祭」に参加

岩手県洋野町にて開催されたウニの森づくり植樹祭に参加いたしました。

植樹祭はウニの生育環境を改善し、品質向上を目指す取り組みで、山から海へ流れ込む水に栄養分を豊富に含ませ、ウニの餌となる海藻を育てることを目的としています。

地元の小学生や後援企業の方と共に広さ0.5ヘクタールの面積に、コナラの苗木約1500本を植樹しました。



取り組み：セルフ式蕎麦業態「最上（もがみ）製麺」リニューアル

『美味しい蕎麦をお手軽に』をコンセプトにしたセルフサービス形式にて提供する蕎麦業態、「最上（もがみ）製麺」を2025年5月にリニューアルいたしました。

岐阜のご当地蕎麦「冷やしたぬき」を看板商品とし、収益・店舗数の拡大を目指していきます。





RIDE ON EXPRESS
HOLDINGS